

No.	023	—	2001	事務事業名	学校教育施設修繕・工事業務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	(2)安全・安心な教育環境の整備				
	事業の対象	児童・生徒、教職員				根拠法令							
	事業の目的	最終的	学校施設、設備の改修・修繕工事を行い、適切な教育環境整備を図ります。			今年度	学校施設、設備の改修・修繕工事を行い、適切な教育環境整備を図ります。						
	活動内容	①	施設の改修、補修。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	19,269 千円	23,098 千円								
		地方債	179,326 千円	106,700 千円	295,700 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	33,581 千円	58,362 千円	56,892 千円								
		計(A)	212,907 千円	184,331 千円	375,690 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.200 人	7,157 千円	1.200 人	7,214 千円	1.200 人	7,357 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		220,064 千円		191,545 千円		383,047 千円						
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学校施設の安全管理上必要不可欠であり、施設や設備を適正に維持管理することにより、教育環境を整えます。												
有効性	施設や設備を計画的に改修・修繕工事することにより、適切な教育環境の改善が図られます。												
達成度	各学校からの要望等を基に、事前調査を行い、緊急性を考慮して実施しています。												
効率性	最も効果のある設計を熟考し、入札により適正な金額で実施しています。												
当面の課題	学校施設については、各施設とも老朽化が進んでおり、計画的に改修を実施していますが、今後の財源確保が課題です。												
改計画	大規模改修については今年度策定中の個別計画に基づき実施し、小規模な修繕・工事については優先度を精査しながら実施します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	未改修の学校施設について、今年度策定の個別計画に基づき、老朽化状況等を踏まえた、中期的視野に立った更新について検討していく必要があります。また、厳しい財政状況から、国庫補助金等の財源確保が重要となります。												

No.	023	—	2071	事務事業名	学校ICT整備事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	(3) 確かな学力を育てる教育の推進				
	事業の対象	教職員				根拠法令							
	事業の目的	最終的	校務の事務負担の軽減、効率化を図るため学校ICTの整備を行います。			今年度	校務の事務負担の軽減、効率化を図るため学校ICTの整備を行います。						
	活動内容	①	校務支援システムの構築。			④							
		②	学校グループウェアの運用。			⑤							
		③	小中学校セキュリティ強化機器借上。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育				費			
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	565 千円	10,151 千円	14,731 千円								
	計(A)	565 千円	10,151 千円	14,731 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,982 千円	0.500 人	3,006 千円	0.500 人	3,066 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,547 千円		13,157 千円		17,797 千円						
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学校ICTの推進は、校務の効率化を進めていく上で、必要不可欠であります。また、セキュリティについても、児童生徒の情報保護の観点から、強化する必要があります。												
有効性	学校グループウェア導入に伴う、教職員間の情報共有化や、校務支援システム導入による、児童生徒情報の一元化及びセキュリティ強化が図られました。												
達成度	教職員間の情報の共有化や児童生徒の情報保護が図られ、適切に管理することができました。												
効率性	従来、複数管理していた情報を、一元管理したことで、校務の効率化及び電子化が図られました。												
当面の課題	機器等ハード面でのセキュリティ強化を構築しましたが、運用面でのセキュリティ強化を行っていく必要があります。												
改訂計画	セキュリティポリシーの策定などデータ管理のルール作りを行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	対象児童生徒、教職員のニーズを把握するとともに国や民間等の動向を注視し、タブレット端末、電子黒板等の更新を計画的に実施していく必要があります。各学校が保有している各種情報が漏れることがないよう、学校の実体に即した情報セキュリティポリシーの策定を行ってください。												